



堆肥成分等検査報告書

番号 162

平成25年6月28日

(株)ヤマザキ 牧之原工場 様

財団法人畜産環境整備機構
畜産環境技術研究所 所長



検査材料受領日 : 平成25年6月17日
検査材料の名称 : 豆太郎
畜種 : なし

検査結果を下記のとおり報告いたします。なおこの検査報告書は、当研究所に送付されてきた検査材料について検査したものであって、当該検査材料以外の品質等について証明するものではありません。

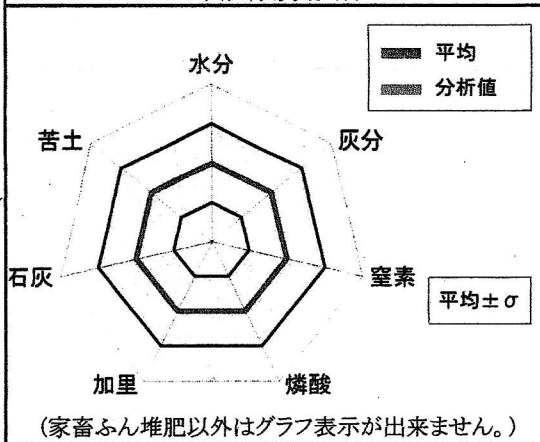
検査項目	検査結果		検査方法
水分	50.0	% (現物)	「堆肥等有機物分析法*」による。
粗灰分	20.2	% (乾物)	同上
pH	6.4		同上
EC	2.0	mS/cm	同上
窒素全量	2.7	% (乾物)	「乾式燃焼法」による。
リン酸全量	1.5	% (乾物)	「堆肥等有機物分析法*」による。
加里全量	1.1	% (乾物)	同上
石灰全量	2.4	% (乾物)	同上
苦土全量	0.5	% (乾物)	同上
炭素率 (C/N比)	15.6		「乾式燃焼法」による。
銅全量	-	mg/kg (現物)	下記*による。
亜鉛全量	-	mg/kg (現物)	同上
鉄全量	-	mg/kg (乾物)	同上
マンガン全量	-	mg/kg (乾物)	同上
発芽率	-	%	下記**による。
酸素消費量	-	μg/g/min (現物)	「コンポテスター」を用いた***による。
臭気指数相当値	-	(現物)	「におい識別装置」を用いた***による。
放射性セシウム合計	検出限界以下 (30 Bq/kg 未満)		NaI(Tl) シンチレーションスペクトロメータ使用による。

銅、亜鉛のコメント中の基準値は肥料取締法における特殊肥料の品質表示基準(現物)です

コメント:

材料が汚泥発酵肥料(食品工業汚泥)のため、家畜ふん堆肥との比較コメント、グラフ表示はできません。参考として、牛、豚、鶏の家畜ふん堆肥に比べると、加里、苦土、ECがきわめて低い特徴があります。この試料に含まれる肥料三要素の全量は、現物1トン当たり、窒素14kg、リン酸8kg、加里6kgです。肥効率を考慮して施用してください。発芽率やコンポテスターによる酸素消費量(易分解性有機物含量の目安)は堆肥の腐熟を評価する上で重要ですから、測定することをお勧めします。

堆肥成分診断



* 財団法人日本土壌協会「堆肥等有機物分析法」(2010年版)に準じた方法

** 農林水産技術会議事務局「家畜ふんたい肥の品質評価・利用マニュアル」(2004)

*** 財団法人 畜産環境整備機構 畜産環境技術研究所方式